

論壇

自然の中で快適な滞在

もう15年以上前のことだが、観光ということについて、スペインで貴重な経験をした。欧州での会議が続ぎ、間に3日ほど空いたので、この機会にスペインのグラナダに行くことにした。アルハンブラ宮殿があり、スペイン屈指の観光スポットである。前から、一度は行ってみたくて考えていた。航空券を手配した後、宿泊先を決めることになった。時々利用するアメリカン・エクスプレスの担

伊藤 元重 (国際経済学) 学習院大教授

当者に電話したら、グラナダから2時間ほどかかるが、面白いホテルがあると紹介された。アメリカン・エクスプレスが薦めるのならということ、そのホテルに宿泊することにした。

グラナダを1日観光してから、

田舎の古民家観光地に

ホテルへの移動となった。バスを利用する方法もあったが、時間を節約するためタクシーを利用した。そうしたら、タクシーは人けのない田舎を1時間以上走った。こんな田舎にホテルなんかあるのかと不安になった頃、車はやっと

ホテルに到着した。

ホテルが一軒ぼつとあって、周りは一面林と野原である。しゃれたリゾートを期待していただけにちょっとがっかりしたが、とにかくチェックインした。古い石造りの建物だったが、部屋はゆった

りとして快適だった。そしてホテルの敷地の中に、レストランが2軒あった。ひとつは値段は高いが、とびつきりおいしいレストラン、もうひとつは安価な値段のしゃれたレストランだった。そのホテルに2泊することにな

ったが、予想に反して非常に快適な滞在だった。自然の中でゆったりと過ごすことができた。林の中を散歩し、部屋で読書をした。夕食にはおいしいレストランがあり、そこで他の滞在客とおしゃべりなどもした。特に素晴らしい景色というわけではないが、自然はたっぷりあった。あとは快適な部屋とおいしい食事があればよい。これが本当の休暇だと感じた。

おいしい食事の提供も

日本でもこうした田舎での宿泊に少しだけ関心があつまっているようだ。辺鄙なところでも、古民家を何軒か宿泊施設用に直して提

供すると、海外の観光客が来るようだ。大切なことは、そこにおいしい食事をする場所があることだ。こうした辺鄙なところでもとびきりおいしい蕎麦を出す店があると、それだけで観光客が来るといふ。もしミシユランの星でもとれば、それだけで外国人が来るそうだ。

田舎は日本のどこにもある。狭い日本だから、レンタカーやバスを使えば主要都市から2時間以内に行けるところも多い。そこに一軒でもおいしい食事ができるところがあれば、あとは古民家を改装すればりっぱな観光地になりうるのだ。

*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。